

RSN 電話相談件数 開設以来最高

相談経路は、ホスター経由が圧倒的

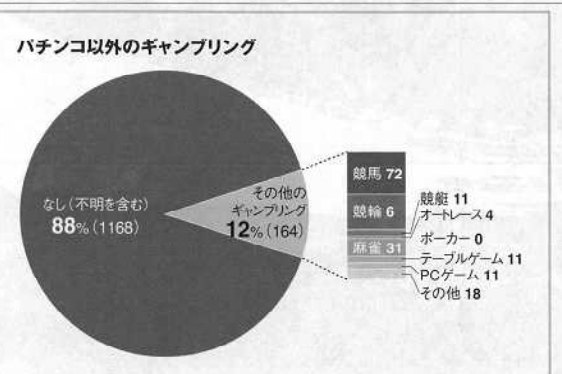
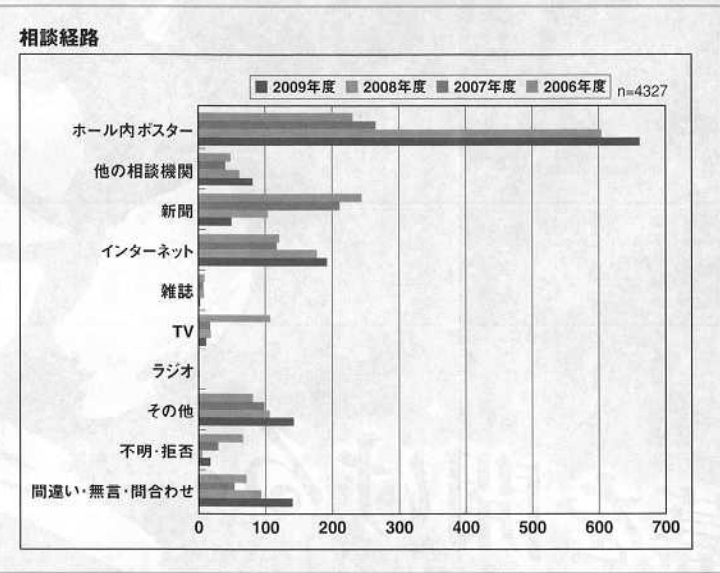
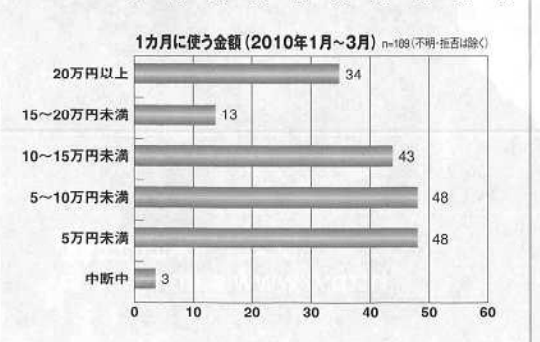
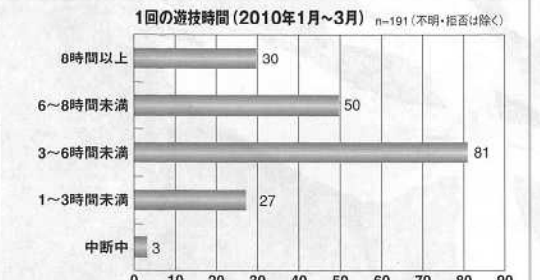
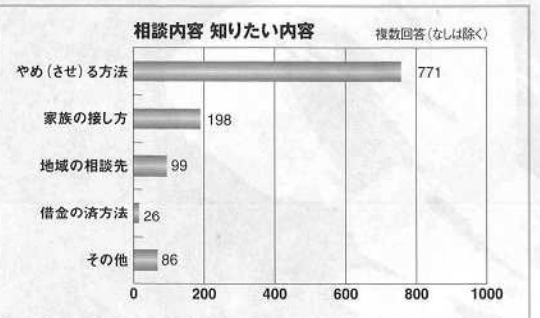
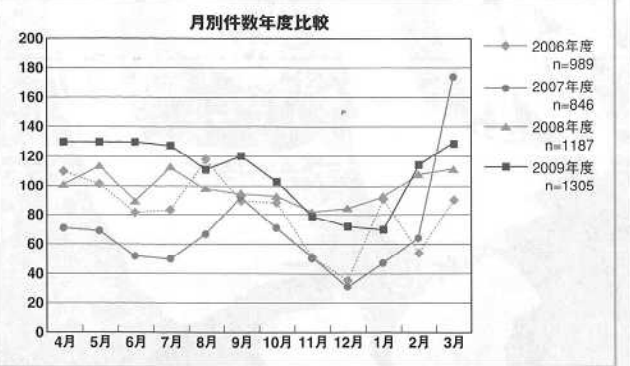
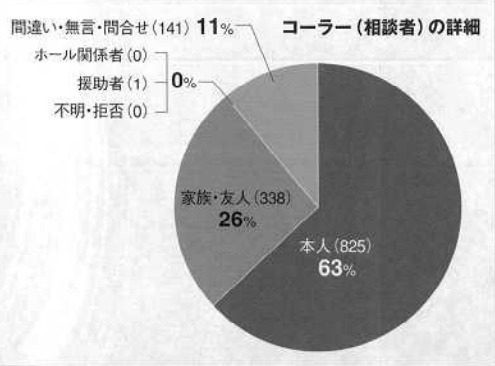
2009年度はちんこ依存問題電話相談事業報告書

パソコン依存問題解決の支援を行うリカバリーサポート・ネットワーク(RSN)が2009年度の電話相談内容の報告書をまとめた。それによると、電話相談は全国で1305件に達した。電話をかけてきたのが本人である割合は年々増加。その相談経路の多くは、ホール内に貼られたポスターというこも分かった。

RSNによると、2009年度の電話相談は全国で1305件前年度比118.8%増。電話相談を開始した06年度以来、過去最高となった。1カ月に平均すると10.8件。地域別にみると、最も電話相談が多かったのは神奈川県(90件)。以下、東京都(87件)、沖縄県(87件)、埼玉県(80件)、大阪府(54件)、福岡県(54件)、愛知県(53件)、広島県(52件)、静岡県(48件)、兵庫県(45件)と続いた。神奈川県は昨年度も電話相談が最も多かった。一方で、1件も電話相談がなかったのは、福井県のみ。相談件数はホール内に貼られた啓発用ポスターや、マスコミへの取り上げ方によって大きく変わるため、一概にこの結果が地域の「のめり」だとは断言できない。神奈川県(87件)、沖縄県(87件)に比べて、神奈川県(71件)と続いた。神奈川県は昨年度も電話相談が最も多かった。一方で、1件も電話相談がなかったのは、福井県のみ。相談件数はホール内に貼られた啓発用ポスターや、マスコミへの取り上げ方によって大きく変わるため、一概にこの結果が地域の「のめり」だとは断言できない。神奈川県(87件)、沖縄県(87件)に比べて、神奈川県(71件)と続いた。神奈川県は昨年度も電話相談が最も多かった。一方で、1件も電話相談がなかったのは、福井県のみ。相談件数はホール内に貼られた啓発用ポスターや、マスコミへの取り上げ方によって大きく変わるため、一概にこの結果が地域の「のめり」だとは断言できない。

都道府県別相談件数上位10件

都道府県	相談件数
神奈川県	90
東京都	87
沖縄県	87
埼玉県	80
大阪府	54
福岡県	54
愛知県	53
広島県	52
静岡県	48
兵庫県	45



一方女性は20代が多かったが、30~50代まで幅広い年齢層で遊技を開始している。女性は、「子育てがひと段落してから」「夫が定年退職し、一緒に遊い始めた」などの回答が多い。

電話相談内容は「やめる方法がトップ」と答えた人が最も多かった(男性36%、女性30%)。「問題化していない」と答えた人でも、今のところ問題化していないが、このままでは将来が不安と答えている。

パチンコパチスロの遊技を開始した年齢を男女別に比較したところ、男性は10代が43%、25歳以下は10代が42%、25歳以下は20代が42%、25歳以下は20代が42%と、20代までで相談を始めた人が8割を超えている。

相談者ほどのような経路でRSNの相談窓口を聞いたところ、最も多かったのは「ホール内ポスター」(662件)で、本人の相談経路においてもホール内ポスターが最も多かった。全日遊連が定期的に組合員ホールに配布している啓蒙ポスターが、大きな役割を果たしているようだ。

家族・友人などの相談経路は、新聞やインターネット、20代までで相談を始めた人が8割を超えている。

ネット経由が最も多かった。ホールに行かない周囲の人は、ママメアアの情報でRSNの存在を知ることが多いようだ。対象者の約9割がパソコン以外のギャンブルはやらないと答えた。この特性はパチンコ依存の特徴のひとつと言える。問題を持った本人の約半数が借金をしていることもわかった。

相談内容では「やめる方法、やめさせる方法」がトップだった。多くの相談者が借金をしながら、その返済方法よりも、パチンコをやめる方法を相談している。次に多かったのが「家族の接し方」だ。家族が問題を持つ本人に対してどう接したらいいかわからないといった内容が主なもの。そのほかにも、「攻略法は本当に存在するのか」「今までの負けを取り返すにはどうしたらいいか」などの相談があった。

「1回に遊技する時間」という質問に対して、最も多かったのは3~6時間未満の81件だった。1~3時間未満と短い人から8時間以上と短い人まで、そのスタイルは様々。仕事の帰りに毎日行く「仕事の合間に少しだけ行く」といった人は遊技時間が短く、「お金があればあるだけ遊技する」人は遊技時間が長くなる傾向にある。

1カ月に使用する遊技費用は、5万円未満、5~10万円がそれぞれ48件でトップ。使う金額によって相談の内容も変わる。5万円未満の人からは「家計から1~2万使ってしまう穴埋めできない」「1カ月3万円の小遣いをすべてパチンコに使ってしまう。できれば他のことに使いたい」といった内容の相談が多い。対して、10万円以上を使うと答えた人からは「お金を持つと、あるだけ使ってしまう」「負けを取り返したい」などの相談が多い。